

中島家住宅など伝統家屋は貴重な財産 ニッパン



中島家住宅

地域活性化の起爆剤
伝統家屋も貴重な財産として活用する。疫病退散や町内安全祈願で山車が町内をめぐり、神幸祭などの祭礼が引き継がれ、国指定重要文化財で江戸時代から続く商家の中島家住宅など寺社や町家などの歴史建造物が残る。添田本町等区域」も、「歴史的風致維持向上計画」の重点区域の1つに位置づけられている。福岡



添田神幸祭

国指定重要文化財に2件指定

をなし、明治から大正時代まで酒造業、しょうゆ醸造業を営んだ。屋敷内には酒蔵やしょうゆ蔵が残り、母屋と併せて国指定重要文化財に指定されている。同じく町指定文化財の中村家住宅も、酒造業を経て明治からしょうゆ醸造業を営んだ。今後は、福岡・飯塚市の旧伊藤伝右衛門邸や福岡・築上町の旧蔵内邸にならいう、イベントや住民の憩いの場などの公共スペースとして活用予定という。町づくりに関する担当者は「重要な景観を形成している物件なので、きちんと保存活用していきたい。伊藤伝右衛門邸や蔵内邸のような活用方法を考えながらやっていきたい。今回の目玉の一つです」と胸を張った。

守って受け継ぐ



◆添田町の主なイベント◆		
月	内容	場所
4	そえだ桜まつり	添田公園
5	神幸祭	添田公園
6	しゃくなげまつり、英彦山山開き	英彦山
7	あじさい・ラベンダーまつり	英彦山花公園
8	そえだ花火大会	そえだサン・スポーツランド
9	英彦山タイムトライアル大会(自転車レース)	英彦山
10	ふる里まつり	添田公園
11	岩石城(かんじゃくじょう)まつり	添田公園
	英彦山男魂祭(ひこさんおとこまつり)	添田公園
	上落合一区村おこしまつり	添田公園

ハイキングコース
添田公園
添田町の東にある標高454.4の岩石山の山頂にある岩石城は、奇岩と険しい山裾で構成され「豊前一の堅城」であったといふ。
天正15(1587)年、豊臣秀吉は九州平定の折、蒲生氏郷、前田利長の2万の軍勢を率いて一夜にして陥落させ、九州国分けをする発端となった。この岩石城を中心として、その麓に位置する現在の添田本町地区などに城下町が形成された。添田本町地区を流れる不動川

かやぶきの大屋根
旧数山家住宅
旧数山(すやま)家住宅のある上津野宮元地区は、英彦山詣での最後の地区。ここを過ぎヒツ石を渡って英彦山門前へと往來した。旧数山家は天保13(1842)年に建築された直屋の大形建物で、国指定重要文化財である。



旧数山家住宅

入り口からすぐに広い土間で、土間の西側に北から「みそや」「くら」「まや」「なや」がそれぞれ幅1間、奥行き2間では納戸としての機能を持つ中2階となっていた。
今川上流の静かな田園風景の中に映えるかやぶきの大屋根が往時のにぎわいをしのばせている。



財蔵坊

唯一坊の全形残す
財蔵坊
英彦山は江戸時代の終わりまで、西日本地区における修験道のメッカとして栄えた。修験者(山伏)たちの住む家を「坊」と呼び、平安末頃より英彦山十谷に散在し、現在の銅鳥居から奉幣殿にいたる参道の両側を中心に最盛期には500〜600坊はあったものの、現在は十数坊を残すのみとなっている。
財蔵坊は規模としては中位に属し、必ずしも大坊ではないが、坊の全形をほぼ今日まで残している唯一のもので、山伏の生活をしのぶことができる。

は、その上流にある不動池や不動滝に源流をなしている。不動池周りにには多数植えられたしだれ桜をはじめ、2000本の桜、4000株のつつじが春夏を彩り、秋には紅葉、ハゼなどが錦色に輝き趣のある情景をかもしている。
この風光明媚(めいび)な情景は岩石山の軽登山とともに、多くの人々が訪れるハイキングコースとして活用されている。現在は添田公園として整備されている。

英彦山信仰の象徴
英彦山神宮銅鳥居
国指定の重要文化財・英彦山神宮銅(かねの)鳥居は、英彦山神宮大門筋入り口にある。柱間約6m、地盤面より貫下まで約4.5mで、柱は青銅製の円筒6個を積み重ね、中央部の総高は約6.8mである。柱の中空部分には石や砂をつめ、足元は根包みがしめられ、貫も青銅製の3本の組み合わせとなっている。英彦山信仰の象徴として、寛

永14(1637)年に佐賀藩主鍋島勝茂が奉納寄進した。また、鳥居正面中央には金字の「英彦山」の額が掲げられているが、この額は享保19(1734)年に霊元法皇が下賜したものである。



英彦山神宮銅鳥居

歴史の町
地元の野菜が安い
道の駅「飲遊舎ひこさん」
今年、オープン15周年を迎えた道の駅「飲遊舎(かんゆうしゃ)ひこさん」も町のにぎわいづくりにひと役を買っている。JR日田彦山線の飲遊舎ひこさん駅にも、あるという利便性も手伝い、物産館は連日、地元産の安価で新鮮な野菜を買い求める客でいっぱい。午前は、年間約50万人の利用がある。今後、町と連携した商品開発などを模索していきたい」と意気込んだ。併設するレストラン「旬菜坊キッチン」農家(みどり



飲遊舎ひこさん

英彦山スロープカー

銅鳥居から英彦山神宮奉幣殿まで英彦山スロープカーで空中散歩。
英彦山の大自然と花公園を眼下にみながら楽しいひと時をお過ごしください。

花駅のご案内
「花駅」では無料で利用できるギャラリーと展示室が併設されています。
交流・憩いの場 オープンギャラリーひこさん 1F
貴重な資料展示室 山伏文化財室 2F 観覧無料

英彦山花公園「電車運行部」〒824-0721 福岡県田川郡添田町大字英彦山1478
0947-85-0375 【運行時間】AM8:40~PM5:10
ホームページ <http://www.hikosan-slopecar.info/>

麗峰英彦の懐にいだかれ 静かな和みのひとときを

英彦山の中腹にあり、自慢はお部屋やレストランからの眺めです。田川方面が一望できます。英彦山神宮へは歩いて30分ほどの。のんびり1泊し散策の拠点にしたい方たちとします(佐藤支配人)

ひこさんホテル
お問合わせ・ご予約 0947-85-0121 FAX.0947-85-0465
〒824-0721 福岡県田川郡添田町大字英彦山233-5 <http://hikosan-nagomi.com>

美しい大自然に抱かれた温泉で 夢の中までリフレッシュ!

英彦山の雄大な大自然を眺めながら、ゆたかな空気と風と、心地よい湯と、心もリフレッシュさせてくれます。

名物をセッとした「しゃくなげ定食」がオススメ。
温泉はスルスと肌触りがいい柔らかなめのお湯。
露天風呂からは季節によって新緑、紅葉、雪景色が楽しめます(根本支配人)

英彦山温泉
0947-85-0123 FAX.0947-85-0124
営業時間/AM10:00~PM9:00
<http://www.hikosan-onsen.info/>